

※性差なしは(-)、下限なしは「空白」、上限未满是「<」と表示。

血液形態・機能検査 項目名称	略号	基準範囲		単位	測定方法	基準範囲の算出根拠・コメント	
		性別	下限				上限
1 白血球数	WBC		3.3~8.6	10 ³ /μL	フローサイトメトリー法	共用基準範囲	
2 赤血球数	RBC	M	4.35~5.55	10 ⁶ /μL	シースフローDC検出方式	"	
		F	3.86~4.92				
3 ヘモグロビン濃度	Hb	M	13.7~16.8	g/dL	SLS-Hgb法	"	
		F	11.6~14.8				
4 ヘマトクリット値	Ht	M	40.7~50.1	%	赤血球パルス波高値検出法	"	
		F	35.1~44.4				
5 平均赤血球容積	MCV		83.6~98.2	fL	Ht / RBC(×10 ⁴ /μL)×1,000	"	
6 平均赤血球色素量	MCH		27.5~33.2	pg	Hb / RBC(×10 ⁴ /μL)×1,000	"	
7 平均赤血球色素濃度	MCHC		31.7~35.3	g/dL	Hb / Ht × 100	"	
8 血小板数	PLT		158~348	10 ³ /μL	シースフローDC検出方式	"	
9 赤血球分布幅 *62	RDW		11.6~14.8	%	"	臨床検査法提要	
			機械分類赤血球における大小不同(aniso)の基準 RDW 16.0%~17.9%:(+) RDW 18.0%~21.9%:(2+) RDW 22.0%~ : (3+)				
9 幼若血小板比率 *62	IPF		0.5~5.0	%	フローサイトメトリー法 (PLT-Fチャンネル)	IPF資料より (参考基準範囲)	
9 網赤血球数 *63	RET #		0.04~0.08	10 ⁶ /μL	フローサイトメトリー法	臨床検査法提要	
10 網赤血球 % *63	RET %		0.8~2.2	%	フローサイトメトリー法	臨床検査法提要	
11	白血球数分類 好酸球	EOSINO		0.0~8.5	%	フローサイトメトリー法 + 目視判定	JSLH基準範囲 ※日本検査血液学会
	" 好塩基球	BASO		0.0~2.5	%		
	" 好中球	NEUT		機器分類 38.5~80.5 目視分類 桿状核球 0.5~6.5 分葉核球 38.0~74.0	%		
	" リンパ球	LYMP		16.5~49.5	%		
	" 単球	MONO		2.0~10.0	%		
12	白血球数実数 好中球 *73	好中球(実数)		設定なし	/μL	白血球数×分類の割合より算出	計算による方法のため基準範囲は設定しない。
白血球数実数 リンパ球 *73	リンパ球(実数)		設定なし	/μL			
白血球数実数 単球 *73	単球(実数)		設定なし	/μL			
白血球数実数 好酸球 *73	好酸球(実数)		設定なし	/μL			
白血球数実数 好塩基球 *73	好塩基球(実数)		設定なし	/μL			
13 赤血球沈降速度	ESR (1時間値)	M	< 15	mm	キャピラリーフォトメトリー法	キャピラリー・フォトメトリー法を原理としたROLLER 10PN-20 PNでの基準範囲	
F	< 15						
14 浸透圧(血清)	S-OSM		275 290	mosm/kg	氷点降下法	"	
15 骨髓有核細胞数	NCC		18.5(10~25)	10 ⁴ /μL		臨床検査法提要	
16 巨核球数 *41	MgK		130(50~150)	/μL		"	
17	骨髓芽球 *41	Blast		0.9(0.1~0.7)	%	目視判定	"
	前骨髓球 *41	Pro-myelo		3.3(1.9~4.7)	%		
	骨髓球 *41	Myelo		12.7(8.5~16.9)	%		
	後骨髓球 *41	Meta		15.9(7.1~24.7)	%		
	桿状核球 *41	Stab		12.4(9.4~15.4)	%		
	分節核球 *41	Seg		7.4(3.8~11.0)	%		
	好酸球 *41	Eosino		3.1(1.1~5.2)	%		
	好塩基球 *41	Baso		< 0.1	%		
	小計 *41	Myeloid		56.8(34.7~78.8)	%		
	18	前赤芽球 *41	Pro		0.6(0.1~1.1)		
好塩基性赤芽球 *41		Baso		1.4(0.4~2.4)	%		
多染性赤芽球 *41		Poly		21.6(13.1~30.1)	%		
正染性赤芽球 *41		Ortho		2.0(0.3~3.7)	%		
小計 *41		Erythroid		25.6(15.0~36.2)	%		
19 リンパ球 *41	Lymphocytes		16.9(8.6~23.8)	%		"	
20 形質細胞 *41	Plasma		1.3(0~3.5)	%		"	
21 単球 *41	Mono		0.3(0~0.6)	%		"	
22 細網細胞(マクロファージ) *41	Reticulum		0.3(0~0.8)	%		"	
23 M/E比 *41	M/E比		2.3(1.1~3.5)			"	
24 ペルオキシダーゼ染色 *41	ペルオキシダーゼ		設定なし		DAB染色キット	症例により変わるため基準範囲の設定はしない。	
25 エステラーゼ染色 *41	エステラーゼ染		設定なし		エステラーゼ二重染色		
26 鉄染色 *41	鉄染色		設定なし		Fe染色キット		

27	初発時白血病セット(骨髄液)	*95	骨-初診白		設定なし		フローサイトメトリー法	症例およびgatingにより変わるため基準範囲の設定はしない。
28	初発時白血病セット(末梢血)	*95	血-初診白		設定なし			
29	AML モニターセット(骨髄液)	*95	骨-AMLモニタ		設定なし			
30	AML モニターセット(末梢血)	*95	血-AMLモニタ		設定なし			
31	T-ALL モニターセット(骨髄液)	*95	骨T-ALLモニタ		設定なし			
32	T-ALL モニターセット(末梢血)	*95	血T-ALLモニタ		設定なし			
33	B-ALL モニターセット(骨髄液)	*95	骨B-ALLモニタ		設定なし			
34	B-ALL モニターセット(末梢血)	*95	血B-ALLモニタ		設定なし			
35	CCR4 セット(骨髄液)	*95	骨CCR4		設定なし			
36	CCR4 セット(末梢血)	*95	血CCR4		設定なし			
37	リンパ腫セット(骨髄液)	*95	骨リンパ腫		設定なし			
38	リンパ腫セット(末梢血)	*95	血リンパ腫		設定なし			
39	T細胞性リンパ腫モニターセット(骨髄液)	*95	骨Tリンパモニタ		設定なし			
40	T細胞性リンパ腫モニターセット(末梢血)	*95	血Tリンパモニタ		設定なし			
41	B細胞性リンパ腫モニターセット(骨髄液)	*95	骨Bリンパモニタ		設定なし			
42	B細胞性リンパ腫モニターセット(末梢血)	*95	血Bリンパモニタ		設定なし			

項目名称	略号	基準範囲			単位	測定方法	基準範囲の算出根拠
		性別	下限	上限			
1 出血時間 *63	出血時間		60~180	秒	Duke法	臨床検査法提要	
2 活性化部分トロンボプラスチン時間	APTT(秒)		24.0~39.0	秒	clot法	試薬メーカーの基準値を引用 自施設にて設定	
	APTT(%)		62.0~148.0	%			
3 プロトロビン時間 *64	PT(%)		70.0~130.0	%	clot法 (クイック1段法)	試薬メーカーの基準値を引用 日本血栓止血学会HPより "	
	PT(比)		0.85~1.15	-			
	PT(INR)		0.85~1.15	-			
4 フィブリノーゲン定量	FIB		200~400	mg/dL	トロンビン時間法	臨床検査法提要	
5 可溶性フィリノモマー複合体定量	SF定量		< 7	μg/mL	ラテックス凝集法	試薬メーカーの基準値を引用	
6 FDP	FDP		≤ 5	μg/mL	ラテックス比濁法	試薬メーカーの基準値を引用	
7 D-dimer定量	D-dimer		≤ 0.5	μg/mL	ラテックス比濁法	自施設にて設定	
8 アンチトロンビン活性 *64	AT-III		80~130	%	合成基質法	臨床検査法提要	
9 トロンビン・AT3・複合体 *72	TAT定量		< 4.0	ng/mL	ラテックス比濁法	試薬メーカーの基準値を引用	
10 プラスミノゲン活性 *64	PLG		80~130	%	合成基質法	臨床検査法提要	
11 α2プラスミンインヒター活性 *64	α2-PI		80~130	%	合成基質法	臨床検査法提要	
12 プラスミン・α2プラスミンインヒター複合体	PIC定量		< 0.8	μg/mL	ラテックス比濁法	試薬メーカーの基準値を引用	
13 F-XIII SubA 抗原量	第13因子定量		70 ≤	%	ラテックス比濁法	試薬メーカーの基準値を引用	
14 プロテインC活性	PC		82~112	%	合成基質法	試薬メーカーの基準値を引用	
15 可溶性トロンボモジュリン	TM		8.7~22.7	U/mL	ECLIA法	試薬メーカーの基準値を引用	
16 ヘモグロビンA1c	HbA1c		4.9~6.0	% (NGSP)	HPLC法	共用基準範囲	

項目名称	略号	基準範囲			単位	測定方法	基準範囲の算出根拠
		性別	下限	上限			
1 総蛋白	TP	(-)	6.6	8.1	g/dL	ビウレット法	共用基準範囲
2 アルブミン	Alb	(-)	4.1	5.1	g/dL	BCP改良法	"
3 グロブリン(未測定)	GLB	(-)	2.2	3.4	g/dL		"
4 アルブミン / グロブリン 比	A/G	(-)	1.32	2.23			"
5 総ビリルビン	T-Bil (TB)	(-)	0.40	1.50	mg/dL	酵素法	"
6 直接ビリルビン *40	D-Bil	(-)		0.20	mg/dL	酵素法	試薬メーカーの基準範囲を引用
7 アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	AST	(-)	13	30	U/L	日本臨床化学会標準化対応法	共用基準範囲
8 アラニンアミノトランスフェラーゼ	ALT	M	10	42	U/L	"	※閉経前後の検査値の変動あり
		F	7	23			
9 コリンエステラーゼ	ChE	M	240	486	U/L	"	※閉経前後の検査値の変動あり
		F	201	421			
10 アルカリフォスファターゼ	ALP	(-)	106	322	U/L	"	※閉経前後の検査値の変動あり
11 アルカリフォスファターゼ(IFCC) *79	ALP(IFCC)	(-)	38	113	U/L	国際臨床化学連合(IFCC)対応法	※閉経前後の検査値の変動あり
12 γ-グルタミルトランスペプチダーゼ	γGT(GGTP)	M	13	64	U/L	日本臨床化学会標準化対応法	※閉経前後の検査値の変動あり
		F	9	32			
13 クレアチンキナーゼ	CK(CPK)	M	59	248	U/L	"	※閉経前後の検査値の変動あり
		F	41	153			
14 乳酸脱水素酵素 *79	LD(IFCC)	(-)	124	222	U/L	国際臨床化学連合(IFCC)対応法	※閉経前後の検査値の変動あり
15 総コレステロール	TC	(-)	142	248	mg/dL	酵素法	※閉経前後の検査値の変動あり
16 トリグリセリド	TG	M	40	234	mg/dL	酵素法	※閉経前後の検査値の変動あり
		F	30	117			
17 LDL-コレステロール *41	LDL-C	(-)	65	163	mg/dL	直接法(選択的可溶化法)	※閉経前後の検査値の変動あり
18 HDL-コレステロール *41	HDL-C	M	38	90	mg/dL	直接法(選択的抑制法)	共用基準範囲
		F	48	103			
19 アミラーゼ	AMY	(-)	44	132	U/L	日本臨床化学会標準化対応法	"
20 無機リン	IP	(-)	2.7	4.6	mg/dL	酵素法	"
21 カルシウム	Ca	(-)	8.8	10.1	mg/dL	酵素法	"

22	補正カルシウム	*80	補正Ca	設定なし			mg/dL	総Ca+(4-Alb)	計算項目のため設定なし
23	尿素窒素		UN	(-)	8	20	mg/dL	GLD法	共用基準範囲
24	クレアチニン		CRE	M	0.65	1.07	mg/dL	酵素法	"
				F	0.46	0.79			
25	尿酸		UA	M	3.7	7.8	mg/dL	酵素法	"
				F	2.6	5.5			
26	ナトリウム		Na	(-)	138	145	mmol/L	イオン選択電極法	"
27	カリウム		K	(-)	3.6	4.8	mmol/L	イオン選択電極法	"
28	クロール		Cl	(-)	101	108	mmol/L	イオン選択電極法	"
29	鉄		Fe	(-)	40	188	μg/dL	ニトロソ-PSAP法	"
30	不飽和鉄結合能		UIBC	(-)	111	325	μg/dL	ニトロソ-PSAP法	山田満廣 他
31	グルコース		GLU	(-)	73	109	mg/dL	酵素法/GOD電極法	共用基準範囲
32	アンモニア		NH3	(-)	12	66	μg/dL	酵素法	臨床検査法提要
33	シスタチンC		Cys-C	M	0.63	0.94	mg/L	ラテックス凝集比濁法	製薬メーカーの基準値を引用
				F	0.52	0.85			
34	Cu(銅)		Cu	(-)	71	132	μg/dL	直接比色法	臨床検査法提要
35	Mg(マグネシウム)		Mg	(-)	1.8	2.3	mg/dL	酵素法	"
36	Zn(亜鉛)		Zn	(-)	66	118	μg/dL	直接比色法	"
37	グリコアルブミン		GA(%)	(-)	11	16	%	酵素法	試薬メーカーの基準範囲を引用
38	P型アミラーゼ	*67	P-AMY	(-)	16	52	U/L	免疫阻害法	試薬メーカーの基準範囲を引用

尿化学検査及び負荷試験 項目名称	略号	基準範囲			単位	測定方法	基準範囲の算出根拠	
		性別	下限	上限				
1 浸透圧(尿)	U-OSM	(-)	50	1,300	mOsm/Kg H ₂ O	氷点降下法	臨床検査法提要	
2 尿・蛋白(U-TP)	U-TP (g/Day)	(-)	0.02	0.12	g/Day	ピロガロールレッド法	"	
3 尿・UN(U-UN)	U-UN (g/Day)	(-)	6.5	13	g/Day	ウレアーゼUV法	"	
4 尿・無機リン(U-IP)	U-IP (g/Day)	(-)	0.5	1	g/Day	酵素法	"	
5 尿・クレアチニン(U-CRE)	U-CRE (g/Day)	(-)	0.5	1.5	g/Day	酵素法	"	
6 尿・ナトリウム(U-NA)	U-NA (g/Day)	(-)	1.6	5.8	g/Day	イオン選択電極法	"	
7 尿・カリウム(U-K)	U-K (g/Day)	(-)	1	3.9	g/Day	イオン選択電極法	"	
8 尿・クロール(U-CL)	U-Cl (g/Day)	(-)	2.5	8.9	g/Day	イオン選択電極法	"	
9 尿・カルシウム(U-Ca)	U-Ca (g/Day)	(-)	0.15	0.29	g/Day	酵素法	"	
10 尿・糖(U-GLU)	U-GLU (g/Day)	(-)	0.04	0.085	g/Day	酵素法	"	
11 尿・尿酸(U-UA)	U-UA (g/Day)	(-)	0.4	1.2	g/Day	酵素法	"	
12 尿・アミラーゼ(U-AMY)	U-AMY	(-)		< 700	U/L	日本臨床化学会標準化対応法	"	
13 尿・アルブミン定量(U-ALB)	U-ALB	(-)	1	30	mg/L	TIA法	試薬メーカーの基準値を引用	
14 尿・β2ミクログロブリン(U-BMG)	U-BMG	(-)		< 150	μg/L	ラテックス凝集法	試薬メーカーの基準値を引用	
15 ICG停滞率	R-ICG	(-)	0	10	%	自動分析器による測定法	試薬メーカーの基準値を引用	
16 ICG消失率	K-ICG	(-)	0.158	0.232	K			
17 1時間クレアチンクレアランス	*76	1hCCR	(-)	設定なし		mL/min	酵素法	臨床検査法提要
18 24時間クレアチンクレアランス	*76	24CCR	(-)	100.8	187.2	L/day		

尿一般検査 項目名称	略号	基準範囲			単位	測定方法	基準範囲の算出根拠
		性別他	下限	上限			
1 尿潜血	<BLD>Hb	(-)		(-)		反射率測定法	
2 比重	*69 *107	(-)	1.005	1.030		屈折率測定法(ルーチン検査) 試験紙法(緊急検査)	臨床検査提要
3 pH	pH	(-)	4.5	7.5		反射率測定法	"
4 白血球反応	WBC	(-)		(-)		反射率測定法	
5 亜硝酸塩	NIT	(-)		(-)		反射率測定法	
6 尿蛋白	PRO	(-)		(-)		反射率測定法	
7 尿糖	GLU	(-)		(-)		反射率測定法	
8 ケトン体	KET	(-)		(-)		反射率測定法	
9 うrobilinogen	URO	(-)		(+/-)		反射率測定法	
10 ビリルビン	BIL	(-)		(-)		反射率測定法	
11 混濁		(-)		(-)		フローセルを用いた光学測定法 (ルーチン検査) 目視法(緊急検査)	
12 色調		(-)				フローセルを用いた光学測定法 (ルーチン検査) 目視法(緊急検査)	
13 尿沈渣 赤血球	赤血球	(-)		4	個/HPF	内科: 画像解析による尿中有形成成分の 分類・計数 + 目視法 泌尿器科: フローサイトメトリー法 + 目視法	尿沈渣検査法2010
	" 白血球	(-)		4	個/HPF		"
	" 尿細管上皮細胞	(-)		少数	個/HPF		"
	" 尿路上皮細胞(移行上皮細胞)	(-)	設定なし		個/HPF		尿沈渣検査法2010
	" 扁平上皮細胞	(-)	設定なし		個/HPF		
	" 硝子円柱	(-)		少数	個/WF		
	" 顆粒円柱	(-)	設定なし		個/WF		
" ろう様円柱	(-)	設定なし		個/WF			
" 細菌	(-)	設定なし		個/WF			
14 尿素呼気試験定量	UBT	(-)		< 2.5	%	赤外分光法	試薬メーカーの基準値を引用
15 尿素呼気試験定性	UBT	(-)		(-)		赤外分光法	"
16 便中ヒトヘモグロビン定性		(-)				イムノクロマトグラフィー法	"

17	髄液一般	髄液比重	*23			1.005~1.007		屈折法	臨床検査法提要
18	"	髄液細胞数	*23*95	新生児		0~20	個/μL	目視法 (時間外:フローサイトメリー法)	髄液検査技術教本
			乳児		0~10				
			乳児以降		0~5				
19	"	髄液細胞種類	*95	単核球		設定なし	%	目視法 (時間外:フローサイトメリー法)	症例により変わるため基準範囲の設定はしない。
				多形核球					
20	白血球数(WBC-BF)	CAPD用	*71	WBC-BF		< 5	個/μL	フローサイトメリー法	一般検査技術教本
21	赤血球数(RBC-BF)	CAPD用	*71	RBC-BF			10 ⁴ /μL	シーンスフローDC検出方式	症例により変わるため基準範囲の設定はしない。
22	単核球(%)	CAPD用	*71	単核球(%)			%	フローサイトメリー法	
23	多形核球(%)	CAPD用	*71	多形核球(%)			%	フローサイトメリー法	
24	単核球数	CAPD用	*71	単核球数			個/μL	フローサイトメリー法	
25	多形核球数	CAPD用	*71	多形核球数			個/μL	フローサイトメリー法	

髄液化学検査 項目名称	略号	基準範囲			単位	測定方法	基準範囲の算出根拠
		性別	下限	上限			
1 蛋白定量(髄液)	CFP	(-)	10	40	mg/dL	ピロガロールレッド法	臨床検査法提要
2 糖定量(髄液)	CFG	(-)	50	75	mg/dL	酵素法	"
3 Na(髄液)	CFNa	(-)	設定なし		mmol/L	イオン選択電極法	臨床検査法提要
4 K(髄液)	CFK	(-)	設定なし		mmol/L	"	"
5 CL(髄液)	CFCL	(-)	120	125	mmol/L	"	"

腫瘍マーカー及び類似項目 項目名称	略号	基準範囲			単位	測定方法	基準範囲の算出根拠
		性別	下限	上限			
1 α-フェトプロテイン	*84 AFP		7.0以下		ng/mL	ECLIA法	試薬メーカーの基準値を引用
2 CA125	CA125		35.0以下		U/mL	CLIA法	"
3 CA15-3	CA15-3		31.3以下		U/mL	CLIA法	"
4 CA19-9	CA19-9		37以下		U/mL	CLIA法	"
5 癌胎児性抗原	CEA		5.00以下		ng/mL	CLIA法	"
6 シアル化糖鎖抗原KL-6	KL-6		0	500	U/mL	ラテックス比濁法	"
7 PIVKA-II	PIVKA-II		カットオフ値:40 参考基準範囲11.4~34.0		mAU/mL	CLEIA法	"
8 PSA	PSA		4.0以下		ng/mL	CLIA法	"
9 扁平上皮癌関連抗原(SCC)	*85 SCC		0.6~2.5		ng/mL	ECLIA法	"
10 シツサイトケチン197ラゲメント	*86 シフラ		2.8以下		ng/mL	ECLIA法	"
11 フェリチン	フェリチン	M	50	200	ng/mL	ラテックス比濁法	"
		F	12	60			
12 可溶性インターロイキン2受容体	可溶性IL-2R	(-)	204	587	U/mL	ラテックス免疫比濁法	"
13 エラスターゼ1	エラスターゼ1	(-)	< 300		ng/dL	ラテックス免疫比濁法	"
14 神経特異エノラーゼ	NSE		16.3以下		ng/mL	ECLIA法	"
15 ガストリン放出ペプチド前駆体	*87 Pro-GRP		74.7以下		pg/mL	ECLIA法	"
16 肺サーファクタントアポ蛋白A	SP-A		カットオフ値:43.8 健常人の参考値: 24.6±9.6		ng/mL	CLEIA法	"
17 Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体	*40 M2BPGi		陰性(<1.00)		C.O.I	CLEIA法	"
18 インターロイキン6	*92 IL-6		7以下		pg/mL	ECLIA法	"

内分泌学的検査 項目名称	略号	基準範囲			単位	測定方法	基準範囲の算出根拠
		性別	下限	上限			
1 甲状腺刺激ホルモン	*41 TSH		0.500~5.000		μIU/mL	ECLIA法	試薬メーカーの基準値を引用
2 遊離トリヨードサイロニン	*41 FT3		2.3~4.0		pg/mL	ECLIA法	"
3 遊離サイロキシシン	*41 FT4		0.90~1.70		ng/dL	ECLIA法	"
4 インスリン	IRI		5~10		μU/mL	CLIA法	"
5 ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N末端フラグメント NT-proBNP	年齢 35.1±12.5		55以下		pg/mL	ECLIA法	"
		M	77以下				
		F	121以下				
			年齢 60~88				
	M	131以下					
	F	165以下					
6 血清 ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	成人男性	M	3.0以下		mIU/mL	ECLIA法	"
	成人女性	F	5.0以下				
7 尿 ヒト絨毛性ゴナドトロピン(UHCG)	成人男性	M	3.0以下		mIU/mL	ECLIA法	"
	成人女性	F	3.0以下				
8 コルチゾール(CORT)	AM 6時~10時		7.07~19.6		μg/dL	ECLIA法	"
	PM 4時~8時		2.96~9.77				
9 副腎皮質刺激ホルモン	ACTH		7.2~63.3		pg/mL	ECLIA法	"
10 プロラクチン	プロラクチン	M	3.46~19.40		ng/mL	CLIA法	"
		F	5.18~26.53				
11 黄体形成ホルモン(LH)		M	2.2~8.4		mIU/mL	ECLIA法	"
		F	1.4~15				
		F	1.4~15				
		F	8~100				
		F	0.5~15				
		F	11~50				

12	卵胞刺激ホルモン(FSH)		M	1.8~12	mIU/mL	ECLIA法	"
		卵胞期前半	F	3~10			
		卵胞期後半	F				
		排卵期	F	5~24			
		黄体期	F	1.3~6.2			
		閉経後	F	26~120			
13	エストラジオール(E2)		M	14.6~48.8	pg/mL	ECLIA法	"
		卵胞期	F	28.8~196.8			
		排卵期	F	36.4~525.9			
		黄体期	F	44.1~491.9			
		閉経後	F	47.0以下			
		妊娠初期(4週0日~13週6日)	F	208.5~4289			
		妊娠中期(14週0日~27週6日)	F	2808~28700			
		妊娠後期(28週0日~38週)	F	9875~31800			
14	プロゲステロン		M	0.2以下	ng/mL	ECLIA法	"
		卵胞期	F	0.3以下			
		排卵期	F	5.7以下			
		黄体期	F	2.1~24.2			
		閉経後	F	0.3以下			
		妊娠初期(4週0日~13週6日)	F	13.0~51.8			
		妊娠中期(14週0日~27週6日)	F	24.3~82.0			
		妊娠後期(28週0日~38週)	F	63.5~174.4			
15	活性型レニン濃度(ARC)	随時		3.2~36.3	pg/mL	CLEIA法	"
		臥位		2.5~21			
		立位		3.6~64			
16	アルドステロン	*91	随時	10.4~142.3	pg/mL	CLEIA法	"

血漿蛋白免疫学的検査および自己抗体検査 項目名称	略号	基準範囲			単位	測定方法	基準範囲の算出根拠
		性別	下限	上限			
1 C反応性タンパク	CRP	(-)	0	0.14	mg/dL	免疫比濁法/ラテックス比濁法	共用基準範囲
2 トランスフェリン	TRF	M	190	300	mg/dL	免疫比濁法	試薬メーカーの基準値を引用
		F	200	340			
3 ミオグロビン	MYO	M	28~72		ng/mL	ECLIA法	"
		F	25~58				
4 トロポニンT	TnT		0.014以下		ng/mL	ECLIA法	"
5 CK-MB	CK-MB		3.1以下		ng/mL	ECLIA法	"
6 尿中好中球ゼラチナーゼ結合性リポカイン *42	U-NGAL			30.5	ng/mL	CLIA法	"
7 レチノール結合蛋白	RBP	M	2.7	6.0	mg/dL	ラテックス比濁法	"
		F	1.9	4.6			
8 トランスサイレチン(プレアルブミン)	TTR	M	23	42	mg/dL	免疫比濁法	"
		F	22	34			
9 C3(補体蛋白)	C3	(-)	73	138	mg/dL	免疫比濁法	共用基準範囲
10 C4(補体蛋白)	C4	(-)	11	31	mg/dL	免疫比濁法	"
11 CH50(血清補体価)	CH50	(-)	31.6	57.6	U/mL	リボソーム免疫測定法	試薬メーカーの基準値を引用
12 IgG(免疫グロブリン)	IgG	(-)	861	1,747	mg/dL	免疫比濁法	共用基準範囲
13 IgA(免疫グロブリン)	IgA	(-)	93	393	mg/dL	免疫比濁法	"
14 IgM(免疫グロブリン)	IgM	M	33	183	mg/dL	免疫比濁法	"
		F	50	269			
15 リウマチ因子	RF	(-)		15	U/mL	免疫比濁法	試薬メーカーの基準値を引用
16 マトリックスメタロプロティナーゼ-3	MMP-3	M	36.9	121	ng/mL	ラテックス免疫比濁法	"
		F	17.3	59.7			
17 ロイシンリッチα2グリコプロテイン *90	LRG	(-)		16未満	μg/mL	ラテックス免疫比濁法	"
18 TARC *90	TARC	小児 6~12ヶ月未満		1367未満	pg/mL	CLEIA法	"
		小児 1~2歳未満		998未満	pg/mL	CLEIA法	
		小児 2歳以上		743未満	pg/mL	CLEIA法	
		成人		450未満	pg/mL	CLEIA法	
19 抗CCP抗体	CCP		陰性(<4.5)		U/mL	CLEIA法	"
20 抗ds-DNA抗体	ds-DNA		陰性(≤12.0)		IU/mL	CLEIA法	"
21 抗ss-DNA抗体	ss-DNA		陰性(≤25.0)		AU/mL	CLEIA法	"
22 抗Jo-1抗体	Jo-1		陰性(<10.0)		U/mL	CLEIA法	"
23 抗RNP抗体	RNP		陰性(<10.0)		U/mL	CLEIA法	"
24 抗Scl-70抗体	Scl-70		陰性(<10.0)		U/mL	CLEIA法	"
25 抗Sm抗体	Sm		陰性(<10.0)		U/mL	CLEIA法	"
26 抗SS-A/Ro抗体	ss-A		陰性(<10.0)		U/mL	CLEIA法	"
27 抗SS-B/La抗体	ss-B		陰性(<10.0)		U/mL	CLEIA法	"
28 抗セントロメア抗体	CENP-B		陰性(<10.0)		U/mL	CLEIA法	"
29 抗ミトコンドリアM2抗体	ミコンドリア		陰性(<7.0)		Index	CLEIA法	"
30 抗MPO-ANCA抗体 *49	MPO-ANCA		陰性(<3.5)		U/mL	CLEIA法	"
31 抗PR3-ANCA抗体	RP3-ANCA		陰性(<3.5)		U/mL	CLEIA法	"

感染症免疫学的検査 項目名称	略号	基準範囲			単位	測定方法	基準範囲の算出根拠
		性別	下限	上限			
1 RPRテスト	RPR		陰性			炭末凝集法	試薬メーカーの基準値を引用
2 TP抗体	TP		陰性(<1.00)		S/CO	CLIA法	"
3 HBs抗原(定性)	HBsAg		陰性(<0.05)		IU/mL	CLIA法	"
4 HBs抗原(定性EM)	HBsAg		陰性(<0.9)		C.O.I	ECLIA法	"
5 HBs抗原(精密)	HBsAg		0.05未満		IU/mL	CLIA法	"
6 HBs抗体(精密)	HBsAb		10.00未満		mIU/mL	CLIA法	"
7 HBe抗原	HBeAg		陰性(<1.000)		S/CO	CLIA法	"
8 HBe抗体	HBeAb		陰性(<50)		%Inh	CLIA法	"
9 HBe抗体	HBcAb		陰性(<1.00)		S/CO	CLIA法	"
10 HCV抗体	HCVAb		陰性(<1.00)		S/CO	CLIA法	"
11 HTLV-I抗体	HTLV-I Ab		陰性(<1.0)		C.O.I	CLIEIA法	"
12 HIV抗原抗体	HIV Ag/Ab		陰性(<1.00)		S/CO	CLIA法	"
13 HBV-DNA定量(TaqMan)	HBV-DNA定量	(-)	検出せず		LogIU/mL	リアルタイムPCR法	"
14 HCV-RNA定量(TaqMan)	HCV-RNA定量	(-)	検出せず		LogIU/mL	リアルタイムPCR法	"
15 新型コロナウイルスPCR検査		(-)	(-)			リアルタイムPCR法	
16 インフルエンザA/B抗原	flu	(-)	(-)			免疫クロマトグラフィー法	試薬メーカーの基準値を引用
17 A群溶連菌迅速		(-)	(-)			免疫クロマトグラフィー法	
18 髄液迅速セット検査		(-)	(-)			ラテックス凝集反応	
19 クロストリジウム ディフィシル毒素		(-)	(-)			免疫クロマトグラフィー法	
20 クロストリジウム ディフィシル抗原		(-)	(-)			免疫クロマトグラフィー法	
21 C.difficileトキシンB遺伝子		(-)	(-)			リアルタイムPCR法	
22 便中ロタウイルス検査		(-)	(-)			免疫クロマトグラフィー法	
23 尿中レジオネラ抗原検査		(-)	(-)			免疫クロマトグラフィー法	
24 尿中肺炎球菌抗原検査		(-)	(-)			免疫クロマトグラフィー法	
25 アデノウイルス検査		(-)	(-)			免疫クロマトグラフィー法	
26 RSウイルス検査		(-)	(-)			免疫クロマトグラフィー法	
27 (1→3)β-D-グルカン	β-D-グルカン	(-)	< 11		pg/mL	比濁時間分析法	試薬メーカーの基準値を引用
28 エンドトキシン定量		(-)	< 5		pg/mL	比濁時間分析法	"
29 プロカルシトニン	PCT		0.05以下		ng/mL	ECLIA法	"
30 新型コロナウイルス抗原定量 *106	SARS-COV-2Ag		陰性(<1.0)		COI	ECLIA法	"

細胞機能検査 項目名称	略号	基準範囲			単位	測定方法	基準範囲の算出根拠	
		性別	下限	上限				
1 T細胞百分率	T cell (%)	(-)	66.00	89.00	%	FCM法	臨床検査法提要	
2 B細胞百分率	B cell (%)	(-)	4.00	13.00	%			基準ハンドブック 改訂版第2版
3 T細胞サブセット CD4	CD4+ (%)	(-)	25.00	56.00	%			
4 T細胞サブセット CD8	CD8+ (%)	(-)	17.00	44.00	%			
5 CD4/CD8比 *96	CD4/CD8比	(-)	設定無し				症例により変わるため基準範囲の設定はしない。	
6 T細胞サブセット CD4 *96	CD4+ 絶対数	(-)			個/μL			
7 T細胞サブセット CD8 *96	CD8+ 絶対数	(-)			個/μL			
8 T細胞百分率(BALF) *96	T cell (%) (BALF)	(-)			%			
9 B細胞百分率(BALF) *96	B cell (%) (BALF)	(-)			%			
10 T細胞サブセット CD4(BALF) *96	CD4+ (%) (BALF)	(-)			%			
11 T細胞サブセット CD8(BALF) *96	CD8+ (%) (BALF)	(-)			%			

免疫血液学的検査 項目名称	略号	基準範囲			単位	測定方法	基準範囲の算出根拠
		性別	下限	上限			
1 ABO/Rh血液型		(-)	オモテ・ウラー一致			試験管法/ゲルカラム遠心凝集法	輸血・移植検査技術教本
2 不規則抗体		(-)	(-)			試験管法/ゲルカラム遠心凝集法	
3 直接クームス、間接クームス		(-)	(-)			試験管法	
4 交差適合試験		(-)	(-)			試験管法	
5 亜型・AB型転移酵素活性検査		(-)	オモテ・ウラー一致			試験管法/ゲルカラム遠心凝集法	

動脈血血液ガス分析 項目名称 ※74	略号	基準範囲			単位	測定方法	基準範囲の算出根拠
		性別	下限	上限			
1 酸塩基平衡 *44	pH	(-)	7.35	7.45		実測値	機器メーカーの基準値を引用
2 炭酸ガス分圧 *44	pCO ₂	M	35	48	mmHg	実測値	機器メーカーの基準値を引用
		F	32	45			
3 酸素分圧 *44	pO ₂	(-)	83	108	mmHg	実測値	機器メーカーの基準値を引用
4 総ヘモグロビン量	ctHb	M	13.7	16.8	g/dL	実測値	共用基準範囲
		F	11.6	14.8			
5 酸素飽和度 *44	sO ₂	(-)	95	99	%	演算値	機器メーカーの基準値を引用
6 酸化ヘモグロビン *44	FO ₂ Hb	(-)	94	98	%	実測値	機器メーカーの基準値を引用
7 一酸化炭素ヘモグロビン *44	FCOHb	(-)	0.5	1.5	%	実測値	機器メーカーの基準値を引用
8 脱酸化ヘモグロビン	FHHb				%	実測値	設定なし
9 メトヘモグロビン *44	FMetHb	(-)	0.0	1.5	%	実測値	機器メーカーの基準値を引用
10 ヘマトクリット	Hct,c	M	40.7	50.1	%	演算値	共用基準範囲
		F	35.1	44.4			
11 ヘモグロビンF *44	HbF	(-)	< 80		%	演算値	機器メーカーの基準値を引用
12 総炭酸ガス *44	ctCO ₂ (P),c	M	23.3	29.7	mmol/L	演算値	機器メーカーの基準値を引用
		F	22.3	28.4			

13	ベースエクセス	*44	SBE,c	M	-3.2	1.8	mmol/L	演算値	機器メーカーの基準値を引用
				F	-2.3	2.7			
14	重炭酸イオン	*44	cHCO ₃ ⁻ (P),c	M	22.2	28.3	mmol/L	演算値	機器メーカーの基準値を引用
				F	21.2	27			
15	カリウム	*44	cK ⁺	(-)	3.4	4.5	mmol/L	実測値	機器メーカーの基準値を引用
16	ナトリウム	*44	cNA ⁺	(-)	136	146	mmol/L	実測値	機器メーカーの基準値を引用
17	カルシウム	*44	cCa ²⁺	(-)	1.15	1.29	mmol/L	実測値	機器メーカーの基準値を引用
18	cCa ²⁺ (7.4),c		cCa ²⁺ (7.4),c				mmol/L	演算値	設定なし
19	クロール	*44	cCl ⁻	(-)	98	106	mmol/L	実測値	機器メーカーの基準値を引用
20	アニオンギャップ	*44	Anion Gap	(-)	7	16	mmol/L	演算値	機器メーカーの基準値を引用
21	グルコース	*44	cGlu	(-)	70	105	mg/dL	実測値	機器メーカーの基準値を引用
22	ラクテート	*70	cLac	(-)	0.5	1.6	mmol/L	実測値	機器メーカーの基準値を引用
23	総ビリルビン		ctBil		新生児出生日より異なる		mg/dL	実測値	設定なし
24	酸素含量	*44	ctO ₂ ,c	M	8.4	9.9	mmol/L	演算値	機器メーカーの基準値を引用
				F	7.1	8.9			
25	肺泡気・動脈酸素分圧格差		pO ₂ (A-a),c				mmHg	演算値	設定なし
26	動脈血中・肺泡気中酸素分圧比		pO ₂ (a/A),c				%	演算値	設定なし
27	p50		p50,e	(-)	24	29	mmHg	推定値	機器メーカーの基準値を引用
28	ヘモグロビン酸素容量		BO ₂ ,c				mmol/L	演算値	設定なし
29	大気圧		Baro.				mmHg	実測値	設定なし
30	吸入酸素分画		FiO ₂				%	入力値	設定なし
静脈血血液ガス分析 ※75			測定項目は動脈血血液ガスと同様。基準値の設定なし。						

末梢神経伝導検査 項目名称		基準範囲(成人)			基準範囲の算出根拠
運動神経		終末潜時(ms)	M波振幅(mV)	測定部位/伝導速度(m/s)	
1	正中神経	3.5(2.3~4.6)	11.8(4.6~19.0)	肘-手/58.0(51.0~65.0)	藤原哲司/筋電図・誘発電位マニュアル 改訂4版より引用
2	尺骨神経	2.6(2.1~3.2)	15.5(9.1~21.9)	肘-手/60.0(50.0~69.0)	
3	後脛骨神経	5.4(4.2~6.5)	13.2(5.0~21.4)	膝-足/48.0(41.0~55.0)	
4	腓骨神経	5.5(4.7~6.8)	4.0(1.4~9.3)	膝-足/47.0(43.0~50.0)	
F波		潜時(ms)		伝導速度(m/s)	基準範囲の算出根拠
5	正中神経 F波	26.6 ± 2.2(31.0)		65.3 ± 4.7(56.0)	木村淳/神経伝導検査と筋電図を学ぶ人のために 2版より引用
6	脛骨神経 F波	47.7 ± 5.0(58.0)		52.6 ± 4.3(44.0)	
知覚神経		神経活動電位・遠位部(μV)	神経活動電位・近位部(μV)	測定部位 伝導速度(m/s)	
7	正中神経	手関節部 57.5(28.7~86.3)	肘部 10.0(0.8~19.2)	手-肘 62.2(53.2~71.2)	藤原哲司/筋電図・誘発電位マニュアル 改訂4版より引用
8	尺骨神経	手関節部 50.4(11.4~89.4)	肘部 13.1(4.3~21.9)	手-肘 67.3(59.7~74.9)	
9	*48				
10	腓腹神経 *43		腓腹部 9.1(3.1~15.1)	外踝-腓腹 51.1(41.3~60.9)*82	

脳誘発電位検査		基準範囲(成人)		単位	基準範囲の算出根拠
聴性脳幹反応(ABR) 項目名称					刺激強度80dB JAMT技術教本シリーズ 神経生理検査技術教本より引用
1	I波	1.60 ± 0.10		ms	
2	II波	2.80 ± 0.10		ms	
3	III波	3.80 ± 0.10		ms	
4	IV波	5.00 ± 0.20		ms	
5	V波	5.80 ± 0.20		ms	
6	I-III *102	2.20 ± 0.10		ms	
7	III-V *102	1.90 ± 0.10		ms	
8	I-V *102	4.10 ± 0.20		ms	
自動聴性脳幹反応 項目名称		基準範囲(新生児)		単位	基準範囲の算出根拠
1	Auto ABR *45	PASS			機器メーカーの基準値を引用
視覚誘発電位 項目名称		基準範囲		単位	基準範囲の算出根拠
1	VEP				設定なし
体性感覚誘発電位 項目名称		基準範囲(26.6 ± 9.6歳)		単位	基準範囲の算出根拠
上肢短潜時体性感覚誘発電位(SSEP)		基準範囲	平均値	ms	
1	上肢刺激 N ₉ *51	7.3~8.5	7.9	ms	藤原哲司/筋電図・誘発電位マニュアル 改訂4版より引用
2	N ₁₁ *51	10.0~11.6	10.8	ms	
3	N ₁₃ *51	12.2~13.2	12.7	ms	
4	N ₂₀ *51	18.0~19.2	18.6	ms	

脳波検査 項目名称*56		基準範囲		単位	基準範囲の算出根拠
1	脳波				設定なし
2	自然睡眠賦活脳波				設定なし
3	薬物睡眠賦活脳波				設定なし

脈波図、心機図、ポリグラフ検査 項目名称		基準範囲		単位	基準範囲の算出根拠
1	ABI(足首上腕血圧比) *101	0.91 ≤ ABI ≤ 1.40	正常		TASC II ガイドライン
2	baPWV 脈波伝播速度 *52	被検者情報にて範囲算出			フクダコーリンの基準値を引用
3	CAVI(心臓足首血管指数)	9.0 ≤ CAVI	動脈硬化疑い		フクダ電子の基準値を引用

心電図検査 項目名称		基準範囲		単位	基準範囲の算出根拠	
1	標準12誘導心電図				設定なし	
2	LP (心室遅延電位)	*54	c-fQRSd	> 105	ms	時空間心電情報の新しい視点 一循環器病診断への応用 より引用
			RMS40	< 15.0	μV	
		LAS40	> 39	ms		
		*88	c-fPd	> 115	ms	
			RMS20	< 2.2	μV	

その他の心電図検査等		基準範囲		単位	基準範囲の算出根拠
1	トレッドミル負荷心機能				設定なし
2	ホルター型心電図				設定なし
3	携帯型発作時心電図				設定なし
4	24時間自由行動下血圧測定				設定なし

経胸壁心臓超音波検査 項目名称*57*105		略号	基準範囲	単位	基準範囲の算出根拠
1	大動脈径	AoD (Valsalva)	25.0-35.0	mm	The JAMP study: Circ J 72:1859-1866
2	左房径	LAD	28.0-36.0	mm	
3	左房径/BSA	LADI	16.0-23.0	mm/m ²	
4	左室拡張末期径	LVDd	41.0-52.0	mm	
5	左室拡張末期径/BSA	LVDdI	25.0-32.0	mm/m ²	
6	左室収縮末期径	LVDs	25.0-34.0	mm	
7	左室収縮末期径/BSA	LVDsI	15.0-20.0	mm/m ²	
8	右室拡張末期径	RVDd	23.0-36.0	mm	
9	心室中隔厚	IVS-Thickness	6.0-11.0	mm	
10	左室後壁厚	PLVW-Thickness	6.0-11.0	mm	
11	左室駆出率	Ejection fraction (MOD)BI	52.0-74.0	%	

頸部血管超音波検査 項目名称		略号	基準範囲	単位	基準範囲の算出根拠	
1	プラークの定義 *66		1.1mm以上の限局した隆起性病変	mm	日本神経超音波学会、 日本超音波医学会： 超音波による頸動脈病変の 標準的評価法2017より引用	
2	総頸動脈 *66	動脈径 CCA	≤ 9	mm		
3	内頸動脈 *66	ICA	≤ 7	mm		
4	椎骨動脈 *66	VA	≤ 5	mm		
	成人健常者	PSV(収縮期最大血流速度)	EDV(拡張末期血流速度)	単位		
5	総頸動脈 *66	40 ~ 100	5 ~ 30	cm/s		
6	内頸動脈 *66	40 ~ 80	20 ~ 40	cm/s		
7	椎骨動脈 *66	40 ~ 70	6 ~ 40	cm/s		

その他の超音波検査		略号	基準範囲	単位	基準範囲の算出根拠
1	経食道心臓超音波				設定なし
2	下肢動脈超音波				設定なし
3	下肢静脈超音波				設定なし

呼吸機能検査 項目名称		略号	基準範囲	単位	補足	基準範囲の算出根拠
1	%肺活量(VC %予測値) *47*103	%VC	80.0 ≤	%		一般社団法人 日本呼吸器学 会：呼吸機能検査ハンドブック より引用
2	%1秒量(FEV ₁ %予測値) *103	%FEV ₁	80.0 ≤	%		
3	%努力性肺活量(FVC %予測値) *103	%FVC	80.0 ≤	%		
4	1秒率(Gaensler) *103	FEV ₁ % (G)	70.0 ≤ (厳密には年齢で変化)	%	FEV ₁ /FVC × 100	
5	1秒率(Tiffeneau) *103	FEV ₁ % (T)	70.0 ≤ (厳密には年齢で変化)	%	FEV ₁ /VC × 100	
6	空気捉込指数 *103	ATI	≤ 5.00	%	(VC - FVC) / VC × 100	
7	気道可逆性試験 気管支拡張効果判定基準 *50		改善量 ≥ 200 mLかつ改善率 ≥ 12%			
8	肺拡散能力%予測値	%DLco	80.0 ≤	%	Hb補正值も同様	呼吸機能検査の実際より引用
9	肺容量で除いた肺拡散能力	Dlco/VA	5.00 ~ 7.00	mL/min/mmHg/L		
10	クローゼンボリュウム ΔN ₂ *99	18~38歳	0.70 ± 0.30	%	Comroe&Fowler	生理機能検査学より引用
		50~77歳	1.80 ± 1.10	%		
11	呼吸抵抗測定	被検者情報にて範囲算出				Predicted Valuesの予測式より引用
12	呼気NOガス分析	FeNO	(成人)		(小児<12歳)	Aerocrineより引用
		LOW	< 5	ppb	< 5	
		NORMAL	5-25	ppb	5-20	
		INTERMEDIATE	25-50	ppb	20-35	
		HIGH	> 50	ppb	> 35	

終夜睡眠ポリグラフィ 項目名称		略号	基準範囲	単位	基準範囲の算出根拠
1	無呼吸低呼吸指数(正常)	AHI	5未満		臨床睡眠検査マニュアルより 引用
2	睡眠関連閉塞性呼吸イベント *58	(軽症)	5-15	回/h	
		(中等症)	15-30		
	(重症)	30以上			

*17 eGFR推算式

$$eGFR(\text{男性}) = 194 \times (\text{血清Cr}^{-1.094}) \times (\text{年齢}^{-0.287})$$

$$eGFR(\text{女性}) = 194 \times (\text{血清Cr}^{-1.094}) \times (\text{年齢}^{-0.287}) \times 0.739$$

更新記録

*01~22、24~39 削除(2023.2.24)

*23 2014/06/01 髄液一般検査を追加

- 検査部では分析装置の測定限界を超えた検査値は検体を用手希釈し、分析装置で測定後、得られた値に希釈倍率を乗じて報告します。2014/07/01より用手希釈による測定で報告した値には「用手希釈参考値」とのコメントを付けて報告します。
- へパリンLi血漿で測定する場合、血清と比較してK・IPはめやや低めに、TPはフィブリノーゲンを含むため高めに測定されます。あくまでも、救命救急のための検査であり、迅速性を考慮し下表の結果を許容範囲としています。

	TP	IP	K
血清	7.47±0.40g/dL	3.80±0.42mg/dL	4.19±0.38mEq/L
へパリンLi血漿	7.72±0.41g/dL	3.57±0.43mg/dL	3.90±0.28mEq/L
平均値の差	0.25g/dL	-0.23mg/dL	-0.29mEq/L
	p<0.001	p<0.001	p<0.001

*40 2018/2/5 直接ビリルビンの基準範囲を変更

*41 2018/2/19 HDL-C、LDL-Cの測定試薬(測定方法)を変更

*41 2018/4/1 骨髓穿刺検査、CD45gating、CD38gatingの基準範囲追加。

*42 2018/4/1 U-NGAL基準範囲追加

*42 2018/4/1 U-NGAL基準範囲追加

*44 2018/4/1 血液ガス検査基準範囲変更と追加

*45 2018/4/1 Auto ABR 追加

*46 2018/4/1 経胸壁心臓超音波検査 心室中隔側e'単位追加

*47 2018/4/1 呼吸機能検査%肺活量 補足を削除

*48 2018/4/1 末梢神経速度 知覚神経の後脛骨神経を削除。

*49 2018/4/26 MPO-ANCAの基準範囲を修正 (<9 → <3.5)

*50 2018/7/1 気道可逆性試験 気管支拡張効果判定基準を修正

*51 2018/7/1 上肢短潜時体性感覚誘発電位(SSEP) 上肢刺激 N9 平均値を修正(7.3→7.9)と基準範囲の算出根拠の改訂(筋電図マニュアル1984→筋電図・誘発電位マニュアル改訂4版)。

*52 2018/7/1 baPWV 脈波伝播速度基準範囲の算出根拠の会社名変更(オムロンコーリン→フクダコーリン)

*53 2018/7/1 基礎代謝率基準範囲の算出根拠の改訂(生理機能検査学→最新 生理機能検査学)

*54 2018/7/1 fQRSd→c-fQRSdに変更、基準範囲の算出根拠の変更

*55 2018/7/1 聴性脳幹反応基準値変更。

*56 2018/7/1 脳液検査項目名称小児を削除。(大人と小児を統合した)

*57 2018/7/1 項目を一部削除。

*58 2018/7/1 基準範囲の算出根拠の変更

*59 2018/7/1 T細胞サブセット CD4/CD8比を削除

*60 2018/6/1 HBV-DNA定量(TaqMan)の上限値を「検出せず」に変更

*61 2018/6/1 HCV-RNA定量(TaqMan)の上限値を「検出せず」に変更

*62 2018/7/1 赤血球分布幅(RDW)、幼若血小板比率(IPF)の基準範囲を追加。

*63 2018/7/1 網赤血球数、網赤血球%、出血時間の基準範囲変更

*64 2018/7/1 PT、ATIII、TAT、PLG、APLの基準範囲算出根拠及び基準範囲変更

*65 2018/7/1 尿沈渣の扁平上皮細胞の基準範囲変更(少数から設定なしへ)

*66 2018/8/13 頸部血管超音波検査の基準範囲算出根拠及び基準範囲変更

*67 2018/8/13 P型アミラーゼの院内検査開始に伴う基準範囲追加

*68 2019/4/1 重心動揺+パワーヘル分析、血管伸展性(AI)検査中止に伴い、一覧表より削除

*69 2019/4/1 臨床検査法提要の改訂による基準値一部変更 比重 1.006~→1.005~

*69 2019/4/1 比重測定法の追記(試験紙法「緊急検査」)

*70 2019/4/1 血液ガス検査項目名称を修正

*71 2019/4/1 CAPD細胞数・種類の基準値追加

*72 2019/6/11 試薬変更に伴い、基準範囲、測定方法の変更

*73 2019/6/11 報告開始による記載の追加。

*74 2019/11/5 血液ガス項目を印字用紙記載項目と整合性を取ったことによる項目追加と略号の変更

*75 2019/11/06 静脈血液ガス分析を追加

*76 2019/11/18 24H-CCRと1H-CCRの体表面積の計算式を新谷式からDu Bois式へ変更
体表面積の計算式変更に伴い24H-CCRと0H-CCRの基準値を変更

*77 2020/1/17 便中ヒトヘモグロビン定量検査から定性検査へ変更

*78 2020/7/17 新型コロナウイルスPCR検査を追加

*79 2020/8/13 ALP、LDの測定方法が国際臨床化学連合(IFCC)対応法へ変更(ALPIは現行法と並行測定)

*80 2020/8/13 補正Caの計算を開始したため追加

*81 2020/11/13 ディフィシル毒素の項目名称変更

便中ロタウイルスの測定方法の変更

血清カンジダ抗原の削除(外注検査に移行)

抗核抗体ANA(外注検査に移行)

*82 2020/11/25 人→外に変更

*83 2021/2/15 単位表記変更、

*84 2021/4/1 免疫血液学的検査 項目名称追記。

*85 2021/4/1 AFP試薬変更に伴い、基準範囲、測定方法の変更

*86 2021/4/1 SCC試薬変更に伴い、基準範囲、測定方法の変更

*87 2021/4/1 シフラ試薬変更に伴い、基準範囲、測定方法の変更

*88 2021/4/1 proGRP試薬変更に伴い、基準範囲、測定方法の変更

*89 2021/4/6 LP(心室遅延電位測定)のP波加算の基準範囲を追加

*90 2021/4/12 TARC.LRG基準範囲追加

- *91 2021/8/2 アルドステロン試薬変更に伴い、基準範囲の変更
- *92 2021/8/2 IL-6基準範囲追加
- *93 2021/9/13 PAS染色中止に伴う削除
- *94 2021/11/1 sIL-2R試薬変更に伴い、基準範囲と測定方法の変更
- *95 2022/1/4 造血器腫瘍表面マーカー測定機器・抗体セット変更に伴い、項目名称の変更
髄液細胞数・細胞種類の測定法追加と基準範囲の変更
- *96 2022/1/18 記載の追加
- *97 2022/4/25 測定機器および試薬の変更に伴い、プロラクチンの基準範囲を変更
- *98 2022/5/23 基礎代謝率の項目削除(2022.4.4～検査廃止)
- *99 2022/7/14 クロージングボリューム ΔN_2 基準範囲追加
- *100 2022/9/14 T細胞,B細胞百分率,T細胞サブセットCD4,CD8基準範囲の桁数変更
- *101 2022/9/22 ABI基準範囲一部変更
- *102 2022/9/27 聴性脳幹反応の基準範囲追加
- *103 2023/3/1 呼吸機能検査の基準範囲追加、項目名称変更、算出根拠変更
- *104 2023/4/1 白血球分類の基準範囲及び基準範囲の算出根拠・コメントの変更
髄液細胞数の基準範囲及び基準範囲の算出根拠・コメントの変更
赤血球沈降速度、FIB、AT-III、PLG、 $\alpha 2$ -PIの基準範囲の算出根拠の変更
- *105 2023/4/1 左室駆出率Ejection fraction (Teich)を削除
- *106 2023/8/1 新型コロナ抗原定量を追加
- *107 2023/9/15 比重(尿一般検査)の単位を削除、混濁、色調(尿一般検査)の測定方法の追加